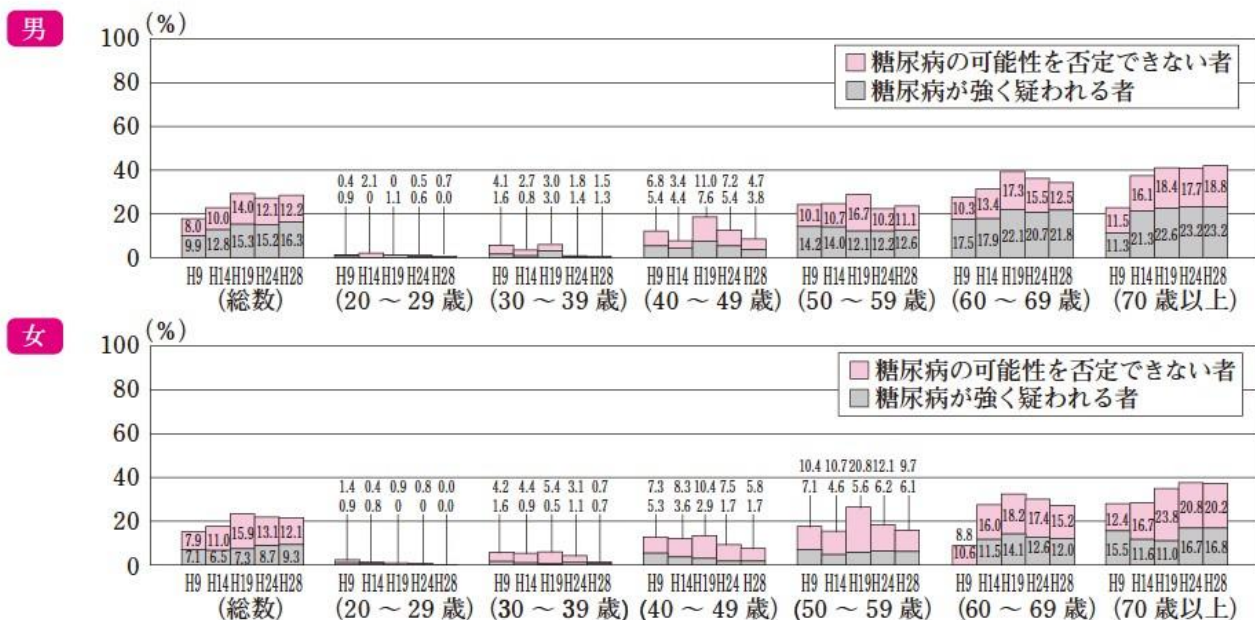


Chapter2 わが国の健康・栄養問題の現状と課題

p.30 図2-5



| | H14年 | H19年 | H24年 | H28年 |
|------------------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 「糖尿病が強く疑われる者」 | 約740万人 | 約890万人 | 約950万人 | 約1,000万人 |
| 「糖尿病の可能性を否定できない者」 | 約880万人 | 約1,320万人 | 約1,100万人 | 約1,000万人 |
| 「糖尿病が強く疑われる者」と「糖尿病の可能性を否定できない者」の合計 | 約1,620万人 | 約2,210万人 | 約2,050万人 | 約2,000万人 |

▼「糖尿病が強く疑われる者」、「糖尿病の可能性を否定できない者」の判定▼

- ①「糖尿病が強く疑われる者」とは、ヘモグロビン A1c の測定値がある者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP) 値が 6.5%以上 (平成 19 年まではヘモグロビン A1c (JDS) 値が 6.1%以上) または「糖尿病治療の有無」に「有」と回答した者。
- ②「糖尿病の可能性を否定できない者」とは、ヘモグロビン A1c の測定値がある者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP) 値が 6.0%以上、6.5%未満 (平成 19 年まではヘモグロビン A1c (JDS) 値が 5.6%以上、6.1%未満) で、「糖尿病が強く疑われる者」以外の者。

図 2-5 「糖尿病が強く疑われる者」および「糖尿病の可能性を否定できない者」の割合の年次推移 (20 歳以上, 性・年齢階級別)

出典) 厚生労働省「2016 (平成 28) 年国民健康・栄養調査報告」より